

令和4年度 学校評価 目標設定

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点で小学部から高等部まで連続性・一貫性のある教育課程を編成し実践・評価・改善を図る。 ・ICT機器等の有効活用を推進し、専門性の高い教育活動を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各学部の授業実践を通して、児童・生徒の年齢や発達段階に応じた「社会とかかわる力」を育成する。 ②ICT機器を活用した「つなぐ」をキーワードとした授業の事例を蓄積し、関係者間で共有できる環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学部は、社会とかかわる力を育てる観点を授業づくりに盛り込む。校内研究では、それぞれの学部の障害や発達の段階から取り組むべき内容や具体的な手立てを整理する。 各学部は、児童・生徒の実態を踏まえて、ICT機器を活用した授業を行う。離れた場所の児童・生徒同士で合同の授業を行う際に、ネットワークを活用した授業を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業づくりにおいて、社会とかかわる力を育成する具体的な手立てを講じることができたか。 ICT機器を活用し「つなぐ」をキーワードとした授業を行ったか。また、ネットワークを活用して校内の児童・生徒の学びのつながりを実践したか。
2	児童・ 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた個別の指導と集団の指導両方を関連付けた授業実践、児童・生徒支援・教育相談を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 特別支援学校における自立活動教諭や栄養士等を生かした指導等の充実を図る。 ①-2 医療的ケア児のニーズを踏まえて、スクールバスによる登校を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援連携、指導推進グループは、各学部における専門職を生かした指導等の現状を把握し、校内で情報共有を図る。 実施に向けて、保護者等への説明を行う。保護者等と相談しながら検討を進める。スクールバスによる登校を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学部における専門職を生かした指導等の現状を把握し、校内で情報共有したか。 医療的ケア児のニーズを踏まえてスクールバスによる登校を開始したか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達の段階に応じた進路指導・支援を行い、将来の自立と社会参加を実現するために必要な力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 児童・生徒が社会貢献できたと実感できる授業を行う。 ①-2 コロナ禍における、進路指導、進路学習、進路相談を工夫し、一人ひとりがよりよい進路選択を行える状況を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献につながる授業を抽出し、意味づけるとともに、児童・生徒がより実感できるよう授業改善を図る。 感染症対策のため、見学や相談などに制限がある際に、代替手段を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献につながる授業を行ったか。児童・生徒の自己肯定感、自己有用感を高める取組が行えたか。 見学等に制限があった場合の代替手段を工夫し、進路選択に必要な情報提供ができたか。
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現に向け、学校と地域住民との協働による活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 共生社会の実現に向け、広報活動や地域の活動への参画を通して本校の取組の理解を進める。 ①-2 共生社会の実現に向け、地域の小中学校及び高等学校への学校コンサルテーションを行い、地域の特別支援教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校が作成する情報誌の内容と情報提供先を見直し、広報の充実を図る。地域の防災訓練等に参加するなどして、地域防災に貢献する。 学校コンサルテーション実施後、対象校の改善状況をアンケート等により把握し、学校コンサルテーションを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌の内容や提供先等を改善したか。地域防災の取組に参画し、地域に役立つ情報発信を行えたか。 本校が行った学校コンサルテーションについて、対象校の取組に変化が見られたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人格的資質・専門性の向上を図る。 ・生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童・生徒が安全に安心して学べるための、丁寧なかかわりや環境整備について、職員間で協議をとおして理解を深める。 ②業務改善を行い、働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「年齢に応じた対応」、「安全な学習環境」等のテーマを設定し、職員間で協議を行い、適切な対応について理解を深める。 各職員は、業務遂行に当たっての課題と改善策を随時提案し、改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒への丁寧で適切な対応のスタンダードを作成できたか。 職員は業務改善の提案を行ったか。また、提案を受けて改善したか。